※横越文化※華ざかり

公民館、青年団、小中学校　文化祭開く

◇芸能大会

郷土に残され、語りつがれている芸能と、歌や踊りを趣味としている人達が一同に会し、その芸を村民に披露しよう、という青年団の主催で「村民芸能大会」が開催されました。各部落から申込みのあった出演者と青年団とが、何回も打ち合せをやり、立派に終ることができました。

拍手と爆笑がうずまく中で出演者は汗だくでした。

この日にそなえて、出演者の練習は大変なものだったろうと思います。

出場種目、約二〇、出演者は百名余でした。

今年から郷土芸能（神楽、しし舞等）を除いて、審査をやりました。だし物が、それ〴〵違うので審査員はやりにくかったそうです。

尚、来年は成績にこだわることなく今年より多くの人が出演されますようお願いします。

◇菊花、色紙（しきし）余技展

文化の日になると、待ちかねていたように、どの市町村においてもいろ〳〵の行事が行われます。私達の村でも、27年余も続いている菊花展を中心に多彩な催しものを行いました。

特に今回は最初の催しものとして、「色紙展」と、第二回目になる「余技展」に力を入れました。

色紙展は、村の役職についている人にお願いし筆をふるっていただきました。

余技展については、村民のいろいろな趣味の持ち主から収集したもの、自分で書いた書や絵、又手で編んだもの、その他なんでも出品していただきまして、訪れる人達を楽しませてくれました。

来年は出品者が更に多くなり、文化の日が一層盛大になるよう期待しています。

尚、今年は気候の関係で菊の花の咲きが遅く、愛好者の苦労は大変だったようです。

◇小、中学校　文化祭行事

統合を目前に控え、各小学校では最後の文化祭行事を盛大にやろうということではりきっています。

各小学校及び中学校の主な行事は次のようなものです。尚紙面の都合で、横越小、小杉小の行事については掲載することができませんでした。ご了承下さい。

一、中学校の文化祭

日時　十一月九日　午前九、〇〇

○展覧会、美術作品、技術家庭作品、白地図作品

○催し物

・バザー、カレーライス、ヤクルト、すし、餅菓子

・村内業者出張販売

・農産物品評即売

野菜、果物

・一品供出即売

日用雑貨、衣類など、格安に販売します。お早目に。

一、沢海小学校

日時　十一月二十三日　九、〇〇～三、〇〇

○児童の作品展

○クラブ活動の作品展

○余技展、父兄の書写、工芸品、自分で収集したものの展示

○農産物品評会、即売

一、木津小学校

日時　十一月九日　九、〇〇～三、〇〇

○バザー、菊花展

・児童作品展

○農産物展

○書画、骨董展、映写会

○青年会、PTA、婦人会作品展

○青年会、神楽

○婦人会、民踊

多数のみなさんのおいでをお待ちしております。

中国訪問記（中）

石倉恵美子

農村に生れ、農村に育った私にとって、中国への関心は中国が農業を国の最重点施策にしていることである。

社会制度の違いとは言え、減反政策や調整のために、生産物を棄てなければならない日本にあって、中国の農政を見る時、何か安堵感を覚える。

その中で最も関心を持ったのは、農村組織である。

中国では、集団所有制の人民公社と、全人民所有制の国営農場がある。

いずれも全て国営に持っていくのが目標とのことである。

国営農場は現在わずか五％である。そのうち人民公社が九五％を占め、生産大隊、生産隊からなる三級所有制をとっている。

国営農場で働く人は、一定の給料制であるが、人民公社の社員は、収穫、収益に応じて分配されるとのことである。

各人民公社では、「農業は大寨に学ぶ」「自力更生」「刻苦奮斗」というスローガンをかかげ生産活動を行っている。

自然災害等で、必要以下の収量でも、よほどのことでない限り他から援助は卒先して断り、苦難を自力で乗り切る。

補助金事業にたよりがちな日本農民一行にとって、耳の痛い言葉であった。

人民公社というのは、農業集団組織であると共に、政権の末端単位でもある。社会の基本的機能である〈工、農、商、学、兵〉を統一的に管理する住民自主管理組織でもある。当然、農業を基本として農機具修理工場、学校、病院、商店、民兵組織などを管理している。

一つの人民公社では、日常に必要な物はすべて生産、管理が可能とのことである。

組織の違いもさることながら、実際の農作物や農薬、化学肥料、機械などの使用度は微々たるものであったが有機肥料が九〇％を占め、作物の害虫防除は、生産物を有効的に組み合せて効果を上げているとの説明であった。

作業の大部分は、まだ人海戦術であるが、機械の導入はすべて農業の発展にともなった規模で導入するので、機械の先行はあり得ないとのことである。

ここでも機械が溢れている日本の農業のことを考えざるを得なかった。

しかし作物の出来は、決して劣ったものではない。

今後、中国が日本のように近代化農法を取り入れたならば、この土から生れるであろう膨大な生産量を想像すると、この国の底知れぬ潜在エネルギーに、恐れさえ感じる思いである。

中国の綿つみ風景

賑やかに第6回村民大運動会

木津学区初優勝

第六回村民大運動会は十月十二日、悪天候の為、会場を中学校体育館に移して開催された。

悪天候にもかかわらず、予定した応援席からはみ出すほどの観覧者、選手でいっぱいになった。

大会は、中学校ブラスバンドの演奏で国旗を先頭に各学区選手の入場が行なわれた。

大会々長神田村長のあいさつ、原村議長、本間中学校長の祝辞のあと木津学区代表帆刈正秀君の力強い選手宣誓が行なわれ競技が開催された。

競技は予定した十九種目の内、学区対抗リレーを除いた十八種目で行なわれた。

パン喰い、フーセンわり、仕度レースなど珍プレーの続出に会場は爆笑に沸き立った

また今回は、体育協会の部門別リレーも種目の一つとして行い、各部門それぞれの服装で出場、観覧者の目を楽しませた。

一方、玉入、大玉送り、騎馬戦、むかで、つな引きの五種目は各学区対抗とあって熱戦がくりひろげられた。

その結果、木津学区と横越学区が同点となり優勝が二学区となった。また、小杉学区沢海学区も同点となり三位も二学区となった。

成績は次のとおり

①木津学区　74点

②横越学区　74点

③小杉学区　62点

③沢海学区　62点

今回の大会で優勝した木津学区は初優勝であり、横越学区は二度目の優勝である。

今回も含め、これまでの各学区の優勝回数は次のとおりである。

木津学区　一回

横越学区　二回

小杉学区　一回

沢海学区　三回

第三十回みえ国体 籠球・軟式野球

二選手が新潟選抜に出場

（武藤君）

（難波君）

第三十回みえ国体は、十月二十六日から三重県下二十市町村で熱戦がくりひろげられた。

この国体に本村から少年男子バスケットボールに武藤裕一君（高校二年）、また、軟式野球少年の部に難波正博君（高校三年）いずれも新潟商業高校生で新潟選抜選手として出場した。

「武藤君は、身長一・七米バスケット選手としては低い方である。しかしスピードに かけては人一倍速いものを持っている。二年生ながらも新商のバスケット部の主将をやっており、今後も一層期待できる。」と村バスケット関係者は言っている。

試合結果は次のとおり。

第一回戦

新潟 104（57－42、47－53）95 鹿児島

第二回戦

新潟 84（48－22、36－38）60 三重

準決勝

秋田 108（54－36、54－31）67 新潟

軟式野球では出場した難波君は高校から本格的に野球を始めたという。

守備はセカンド、27日、28日と宇治山田商業高グランドで熱戦が展開された。

「新潟県の軟式野球レベルはまだまだ全国レベルに劣ると痛感してきた。社会へ出ても野球を続けていきたい。」といっている。

試合結果は次のとおり。

第一試合

新　潟 6 ―1 兵　庫

準々決勝

神奈川 2 ―1 新　潟

本を読もう

読書感想文募集

先月二十七日から全国読書週間が始った。本村では公民館内図書館、二本木、木津、沢海、小杉の移動図書館を通じて読書活動が進められてきた。

この度の読書週間に当り小、中学校児童生徒の読書感想文を募集することになった。優秀な作品を表彰するので是非多くの人達から応募して頂きたい。

○〆切

昭和五十年十一月二十日

○提出先

横越村公民館図書係宛

○表彰

小学校（低、中、高）中学校の四部門に分け優秀作品各三点を表彰する。

応募した人達には参加賞を贈呈する。